



令和4年度 夏祭り全体図(案)

◎産業建設部所管

問 まさき音頭の会場変更に伴う交通規制周知の経費が高い。チラシはどこに配布するのか。

答 会場が恋泉通りに変更することに伴い、多くの箇所を封鎖し、規制の時間帯も増える。

問 既存のチラシでは盛り込めないことから、別に作成し新聞等の折り込みに入れ、広く町内外の方に知ってもらいたいと考えている。

答 テレビ、ラジオCM各20回は必要なのか。

問 道路の交通規制を行うことから、万全を期すためCMを制作し、周知と安全対策の徹底を図りたい。

答 なお、今年度開催し、交通渋滞の状況などの結果を踏まえ、来年度以降、周知にかかる費用を検討する。

問 産業振興育成対策事業の放置艇処理事業補助金について、個人所有の放置艇を廃棄するために、税金を使うのはどうなのか。

答 個人に対し県や町が撤去の指導を行ったが、なかなか進まず、最終的に漁協から相談があり、町からも補助金を交付するようにした。

問 個人所有の放置艇に対して、町が補助金を交付して廃棄するというような、前例を作っていないのか。

答 過去に2回沈廃船の補助をして処分したという前例もあり、予算を計上した。

問 さらに、今回の放置艇については、護岸に陸揚げされており、まちづくり課が県の港湾管理の担当課に対して、速やかに撤去するよう要請を以前からしている。

意見 放置艇の処理に補助をするのであれば、今後、公平な対応を行うためにも、補助する基準を条例で定めから実施するべきである。

しかし、県内でも今回のような事案に対して行政代執行をしたことがないということで、二の足を踏んでいる状況である。

そういった中で、水産業の振興のために処分をするにあたり、コロナ禍で漁業の売上が減少し、生活が以前と比べてかなり厳しい状況であり、今回は漁協が先頭に立って処分をするという話をいただいた。

町としても、この機会に半分補助をして、きれいな環境の町のイメージアップ、水産業の振興のために計上したものである。



松前保育所跡地の地下に雨水貯留池を設置

問 筒井地区雨水対策事業について、雨水調整池詳細設計費は4500万円と高額だが、適正な価格か。

答 1万立方メートルの地下式雨水貯留施設に係る仮設費と地下水の対策工事を含んでいるため、適正であると考えている。

問 施設整備に掛かる概算費用は、基本設計の中で概算費用を積算するが、10億円は必要だと考えている。

答 令和4年度は、国からの補助金は交付されないのか。

問 浸水シミュレーションと基本設計は、国費の対象であった。

答 しかし、調整池の実施に関しては町債で実施する。通常の起債事業より財政措置が有利で、借りた金額に対する交付税措置率が7割である。

7